

# 七中図書館だより

令和 8年 2月

第七中学校学校図書館

立春が過ぎ、少しずつ春の気配を感じられるようになりました。日差しは強く、日の入りもだんだん遅くなっています。まだまだ朝晩寒いので、体調管理に気を付けてくださいね。推しチョコへの投票、お待ちしております。



## 教えてください あなたの好きなチョコ 2026ver.

今年も、七中図書館でチョコレート選挙を開催しています。

まだ投票していない人はぜひ、ご参加ください!



新刊のお知らせ ☆買い替え ★リクエスト

準備ができた本から貸し出します。

### 知識

裏面もあります

007	/ホ	ぼくたちはChatGPTをどう使うか	東大カルペ ディエム//著	三笠書房
019	/キ	中・高校生のためのブックガイド	木下 通子//著	学事出版
159	/ウ	いっぱいいっぱい自分から脱出する方法	内田 和俊//著	KADOKAWA
146	/ハ	公認心理師になるには	橋口 佐紀子//著	ペリかん社
302	/タ	もしも君の町がガザだったら	高橋 真樹//著	ポプラ社
320	/ソ	それ犯罪かもしれない図鑑	小島 洋祐//監修	金の星社
366	/マ	技術・情報の時間	松井 大助//著	ペリかん社
374	/ヤ	中学校・高校教諭になるには	山田 恵吾//編著	ペリかん社
376	/コ	家庭科高校	小杉 真紀//著	ペリかん社
376	/ヤ	知りたい!専門学校医療分野	山下 久猛//著	ペリかん社
410	/サ	最強に面白い数学パズル	小谷 善行//監修	ニュートンプレス
485	/バ	知れば楽しいクモの世界	馬場 友希//著	少年写真新聞社
486	/エ	ようこそ!虫のぬけがら博覧会	森上 信夫//写真 文	少年写真新聞社
488	/カ	鳥類学者の半分は、鳥類学ではできてない	川上 和人//著	新潮社
645	/タ	みんなで見守る地域猫	高橋 うらら//文	金の星社
724	/リ	野村重存による絵を描くための風景の写真集	野村 重存//著	マール社
726	/カ	ポーズと構図の演出テクニック ★	カリマリカ//著	翔泳社
780	/エ	世界に挑む!デファスリート	森埜 こみち//著	ペリかん社
783	/イ	頂を目指して	石川 祐希//著	徳間書店
837	/ワ	人を助ける英語1000	和久 健司//著	ジャパンタイムズ出版

文学

912	/ヨ	義経千本桜 ストーリーで楽しむ文楽・歌舞伎物語		越水 利江子//著	岩崎書店
913	/ア	NO.6 ☆	#1~9, beyond	あさの あつこ//[著]	講談社
913	/ア	受取人、不在につき 赤川次郎ホラーの迷宮		赤川 次郎//著	汐文社
913	/ア	お出かけはく13日の金曜日〉 赤川次郎ホラーの迷宮		赤川 次郎//著	汐文社
913	/ア	砂に書いた名前 赤川次郎ホラーの迷宮		赤川 次郎//著	汐文社
913	/ア	長距離電話 赤川次郎ホラーの迷宮		赤川 次郎//著	汐文社
913	/オ	アリバイ崩し承ります		大山 誠一郎//著	実業之日本社
913	/オ	時計屋探偵の冒険		大山 誠一郎//著	実業之日本社
913	/オ	spring another season		恩田 陸//著	筑摩書房
913	/シ	小説秒速5センチメートル		新海 誠//[著]	KADOKAWA
913	/ス	Sweet & Bitter 甘いだけじゃない4つの恋のストーリー	2,3	近江屋 一朗//著	岩崎書店
913	/ハ	さくら前線急上昇!		橋長 あこ//作	文研出版
913	/ミ	成瀬は都を駆け抜ける		宮島 未奈//著	新潮社
913	/ミ	春、出逢い		宮田 愛萌//著	講談社
E	/リ	そこつ長屋		野村 たかあき//文 絵	教育画劇
E	/リ	千両みかん		野村 たかあき//文 絵	教育画劇

1月、2月で落語の本がいくつか入りましたので紹介します。

「落語はおもしろい話をひろうして、観客を楽しませる『話芸』です。大笑いできるこっけい<sup>ばなし</sup>や、ほろっと感動できる人情<sup>はなし</sup>など、さまざまな『<sup>はなし</sup>』があります。～中略～ 落語家は、たったひとりで座布団に座り、観客の想像力をかき立てながら、物語を語って楽しませます。」(『落語ってなんだ!?』今岡謙太郎 監修 ほるぷ出版 そで部分より)



『三方一両損』川端誠 作 ロクリン社

大工の吉五郎の財布を拾った、左官職人の金太郎。中には三両入っています。すぐに吉五郎に届けた金太郎ですが、吉五郎は「おせっかいなまねしやがって」と受け取りません。金太郎も同じく受け取らず、とうとう名奉行の大岡越前守にさばいてもらうことになりました。



『千両みかん』柳家小三治・落語「千両みかん」より

野村たかあき 文 絵 教育画劇

病気で寝込んでいる若旦那が、みかんを食べたいと言うので、「おやすい御用」と答えた番頭さん。ところが季節は夏の盛り、これは大変と、江戸じゅうを探しまわったところ、みかん問屋の蔵の中にたったひとつ、おいしそうなみかんが見つかります。値段はなんと、千両。※現在の1億円くらい